



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和6年4月11日
第1号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

「瓜」より、「土」を育てます

校長の山田耕人(やまだたかひと)と申します。本校勤務3年目となりました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。今年度のスタートにあたり、入学式の式辞の中で話したある寓話をもとにした今年度本校が目指す生徒の姿について紹介いたしますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。(以下、式辞一部抜粋)

(略) 中世のとあるヨーロッパのお話です。ある旅人が町を歩いていると、額に玉のような汗を流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している3人のレンガ職人に出会いました。そこで旅人は「何をしているのですか?」と尋ねました。すると、1人目のレンガ職人は、「そんなこと見ればわかるだろう。親方の命令で"レンガ"を積んでいるんだ。暑くて大変だから、もういい加減にして、早く今日の分が終わらないか、さっきからそればかり考えてるよ。」と答えました。2人目のレンガ職人は、「レンガを積んで"壁"を作っているんだ。この仕事は大変だけど、賃金が良いからやっているのさ」と答えました。3人目のレンガ職人は、「レンガを積んで、後世に残る"大聖堂"を造っているんだ。こんな仕事に就けてとても光栄だよ」と答えました。(略) 3人の十年後です。1人目は、十年前と同じように文句を言いながらレンガを積んでいました。2人目は、レンガ積みよりお金の良い仕事に就きましたが、危険を伴う教会の屋根の上で仕事をしていました。3人目は、建築現場の施工管理者として施工を任せられるようになり、のちに出来上がった大聖堂には彼の名前が付けられました。スタートは同じ仕事をしていたはずが、十年後に3人の姿は決定的な差が見られるようになりました。皆さんなら、どのレンガ職人になりたいと思ったのでしょうか。このお話から皆さんに考えてほしいことは、皆さんはなぜ「学ぶ」のかということです。やれと言われたから仕方なく学ぶのか。または、テストの点数を上げて、何かほしいものを買ってもらうために学ぶのか。それとも、学ぶことの意義や価値の高さを知り、未来の世界をより良くするためなどの理想をもって学ぶのか。(略)



令和6年度は本校の教育活動全体を通して、教育目標である『自律』『創造』『協働』の理念のもと、重点目標「思いやりを持ち、共に学び高め合おう」を実現するため、「瓜をつくるより、土をつくる」ことを共通実践テーマに掲げ「学びたい生徒」「表現したい生徒」「登校したい生徒」の育成に務めます。(略) 学校と家庭、地域が一体となって取り組み、もっと学びたい、もっと表現したい、そして、明日も明後日も学校に行きたい、と思う生徒で溢れる学校になるよう生徒の皆さんも協力してください。令和6年度の小高中学校をここに在る生徒全員の力とともに一緒に作りあげていきましょう。

職員紹介

1年間よろしくお願いいたします

1	校長		14	事務補助	
2	教頭		15	学習支援員	
3	教務担当(理科)		16	非常勤講師(美術)	
4	1学年主任(英語)		17	兼務教諭(技術)	
5	1年I組担任(数学)		18	非常勤講師(家庭)	
6	5組担任(保体)		19	A L T(市雇用)	
7	2学年主任(音楽)		20	用務員	
8	2年I組担任(英語)		21	用務員	
9	3学年主任(社会)		22	スクールカウンセラー(県)	
10	3年I組担任(国語)		23	スクールカウンセラー(国)	
11	3年副担任(保体)		24	学校司書	
12	養護教諭		25	ICT支援員	
13	主事				

*職員の氏名については紙面をご覧ください。